

厚生労働省 三重労働局発表

令和2年2月27日(木)

担
当

厚生労働省三重労働局職業安定部
職業安定課長 小西 克明
職業安定課長補佐 東 久文
地方労働市場情報官 吉原 健一
電話 059-226-2305

報道関係者 各位

「雇用情報モニター報告集計結果(令和元年度第4・四半期)」

三重労働局では、県内企業・経営者団体等に雇用情報モニターを委嘱し、企業活動の実績と見通し、雇用動向等についての報告を、年4回(四半期毎)提出いただいております。

このたび、令和元年度第4・四半期(令和2年1月～3月)実績見込み及び次期(令和2年4月～6月)見通しの集計結果を取りまとめましたので公表します。

調査結果 主な項目の概要

○ 受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が18.6%で横ばい、「減少」が20.3%で減少。D I(「増加」-「減少」)は▲1.7。前期と比べ17.0ポイント上昇。次期見通しは1.7で上昇予想。

○ 企業収益の実績見込みと今後の見通し

「増加」が15.9%で横ばい、「減少」が27.0%で減少。D I(「増加」-「減少」)は▲11.1。前期と比べ11.1ポイント上昇。次期見通しは▲4.9で上昇予想。

○ 稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し

「増加」が18.6%で増加、「減少」が22.0%で減少。D I(「増加」-「減少」)は▲3.4。前期と比べ9.9ポイント上昇。次期見通しは3.4で上昇予想。

○ 設備投資の見込み

「ある」が34.9%で1.2ポイント減少。「ない」は46.0%で6.7ポイント増加。D I(「ある」-「ない」)は▲11.1で7.9ポイント下降。

○ 従業員の過不足判断

「過剰」が横ばい、「やや過剰」が増加、「不足」が減少、「やや不足」が減少。D I(「過剰」-「不足」)は▲15.9となり、13.4ポイント増加(不足判断が減少)。次期見通しは▲19.0で「不足」判断は増加の予想。

○ 雇用調整の状況

実施事業所は11事業所(17.7%)で、前期の9事業所(14.5%)から増加。

○資料

別添 「令和元年度 雇用情報モニター報告集計」

○参考

- ・調査対象 地域経済にかかわりの深い企業の中から公共職業安定所長の推薦により労働局長が委嘱した、民間企業及び事業主団体
 - ・調査方法 調査票により、モニターから公共職業安定所長に郵送等により提出
 - ・調査時期 令和元年度第4四半期（令和元年度1月～3月）実績見込み及び次期（令和2年度4月～6月）見通しについて
 - ・モニター内訳 建設業2、製造業48、運輸業2、小売業7、サービス業等5、事業主団体等8
 - ・回答状況 民間企業64社、事業主団体等8団体
- （注）集計結果には、業種別等の偏りがあると思われるのでご了承ください。

令和元年度 雇用情報モニター報告集計

令和元年度 第4・四半期
三重労働局職業安定部職業安定課

令和元年度第3・四半期（元年10月～12月 以下前期）においては、全ての指標のD Iがマイナスとなりましたが、元年度第4・四半期（2年1月～3月 以下今期）においても、全ての指標のD Iがマイナスとなりました。

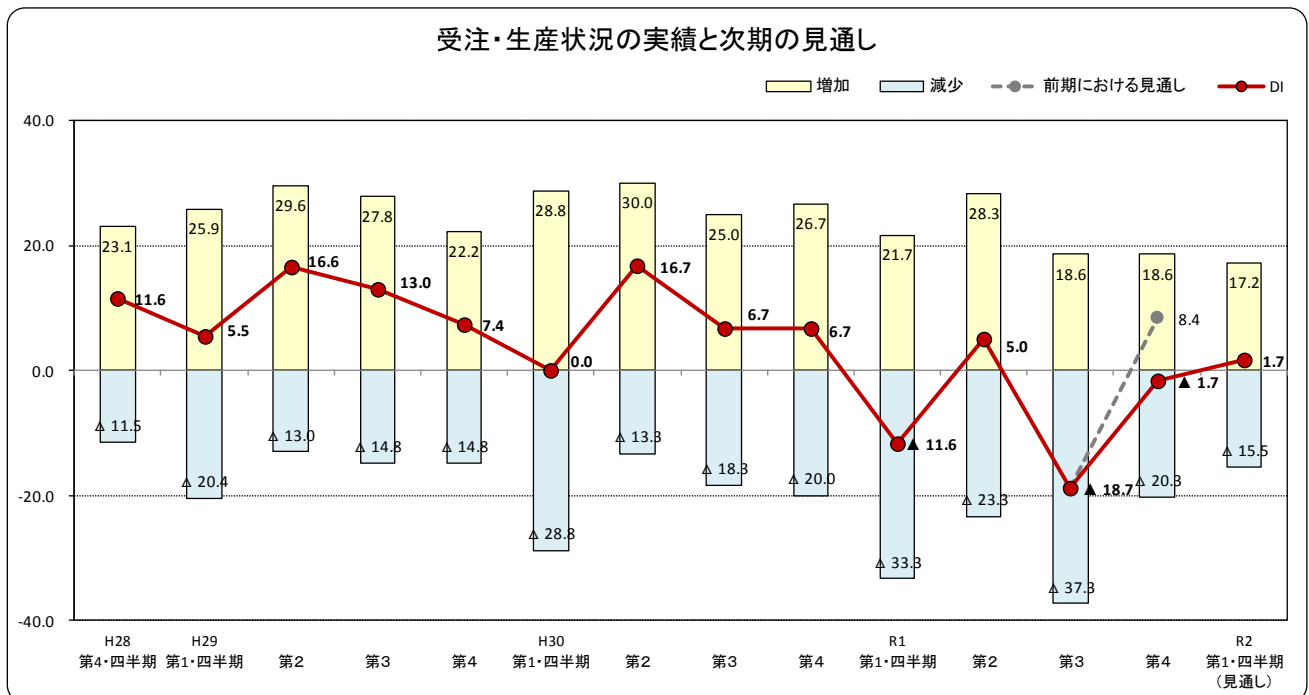
次期の予想においては、多くの指標で上昇の見通しとなっています。

1. 受注・生産動向について

【受注・生産状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の受注・生産状況では、「増加」が18.6%、「減少」が20.3で、D I（「増加」－「減少」）は▲1.7で前期と比べ17.0ポイント上昇し、2期連続でマイナスとなりました。

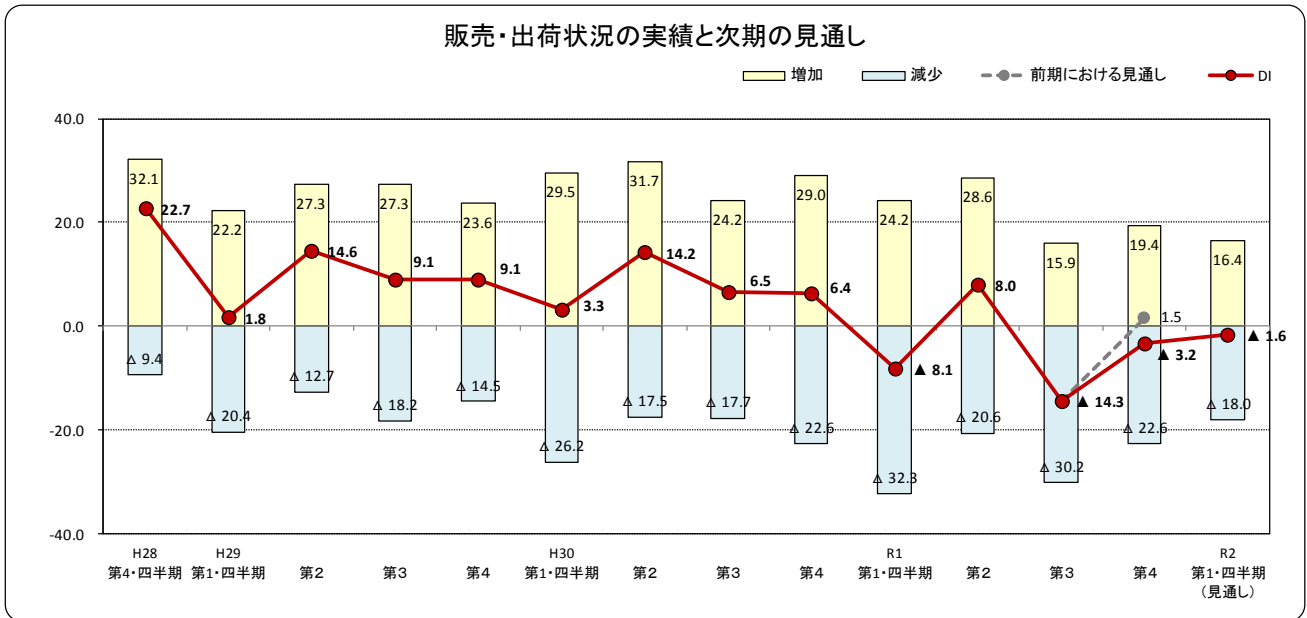
次期の見通しについては、D Iは1.7で、上昇する予想となっています。



【販売・出荷状況の実績見込みと今後の見通し】

今期の販売・出荷状況では、「増加」が19.4%、「減少」が22.6%で、D I（「増加」－「減少」）は▲3.2となり、前期と比べ11.1ポイント上昇し、2期連続でマイナスとなりました。

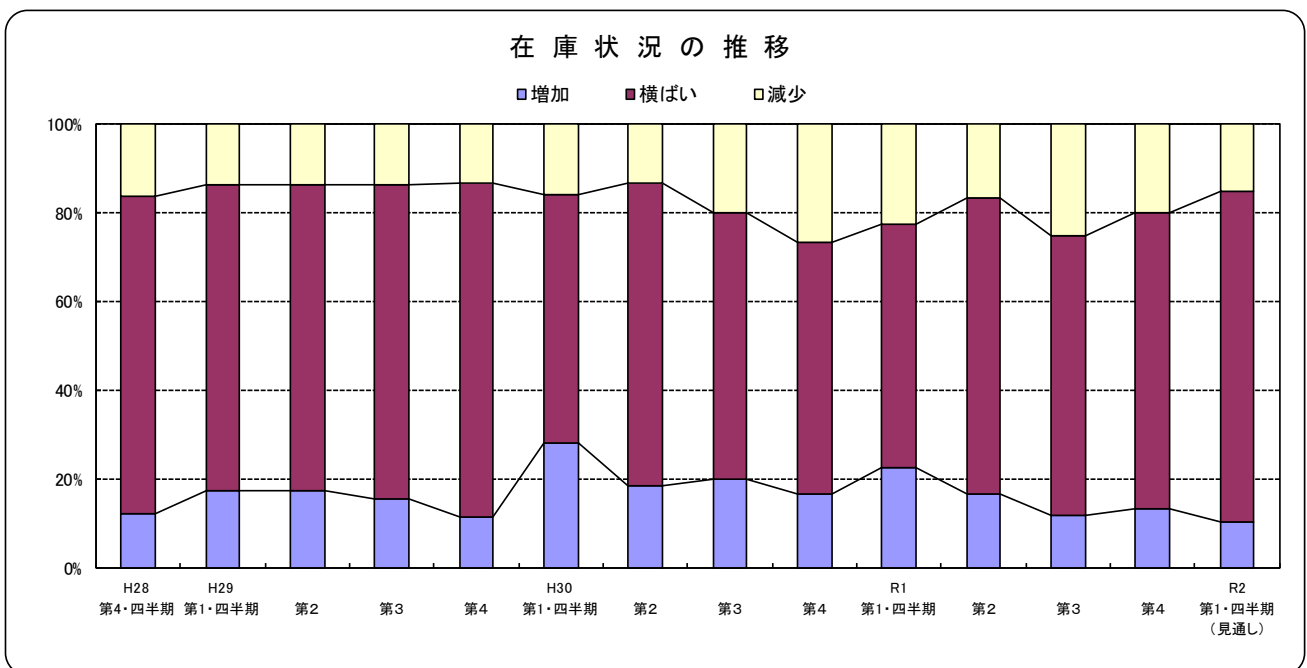
次期の見通しについては、D Iは▲1.6で、上昇する予想となっています。



【在庫状況】

今期の在庫の状況についてみると、「増加」が増加、「減少」が減少、40期連続して「横ばい」が最も多くなりました。

次期の見通しについては、「横ばい」が増加し、「増加」が減少する予想となっています。

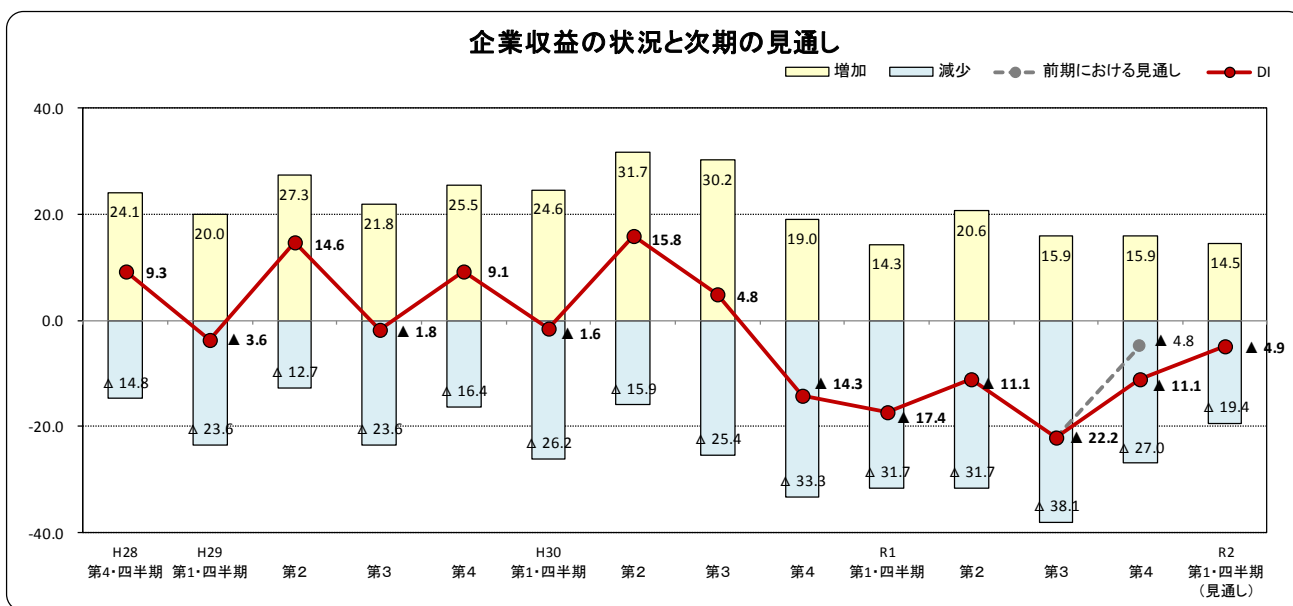


2. 企業活動の状況について

【企業収益の実績見込みと今後の見通し】

今期の企業収益の状況では、「増加」が15.9%、「減少」が27.0%で、D I（「増加」－「減少」）は▲11.1となり、前期と比べ11.1ポイント上昇し、5期連続でマイナスとなりました。

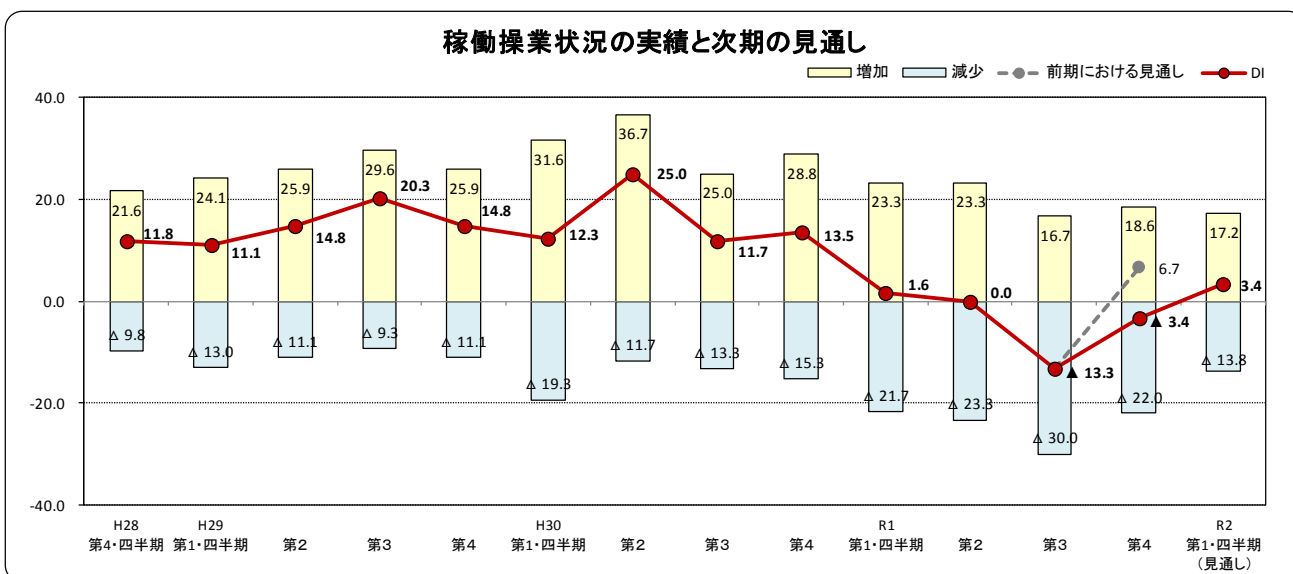
次期の見通しについては、D Iは▲4.9で、上昇する予想となっています。



【稼働操業状況の実績見込みと今後の見通し】

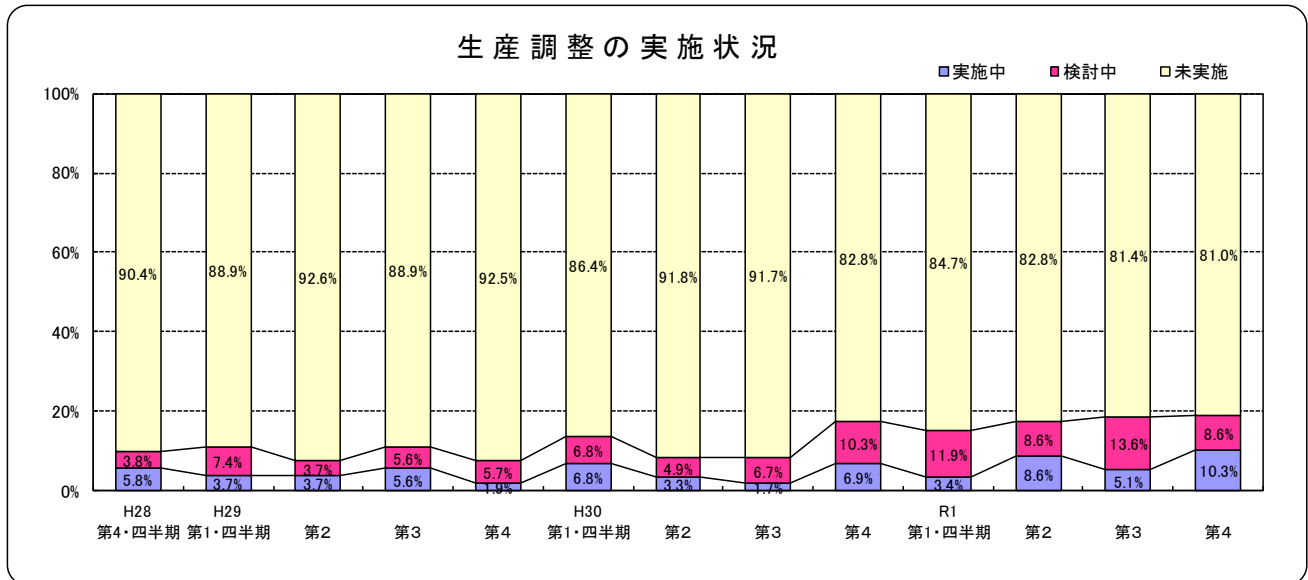
今期の稼働操業状況では、「増加」が18.6%、「減少」が22.0%で、D I（「増加」－「減少」）は▲3.4となり、前期と比べ9.9ポイント上昇しました。

次期の見通しについては、D Iは3.4で、上昇する予想となっています。



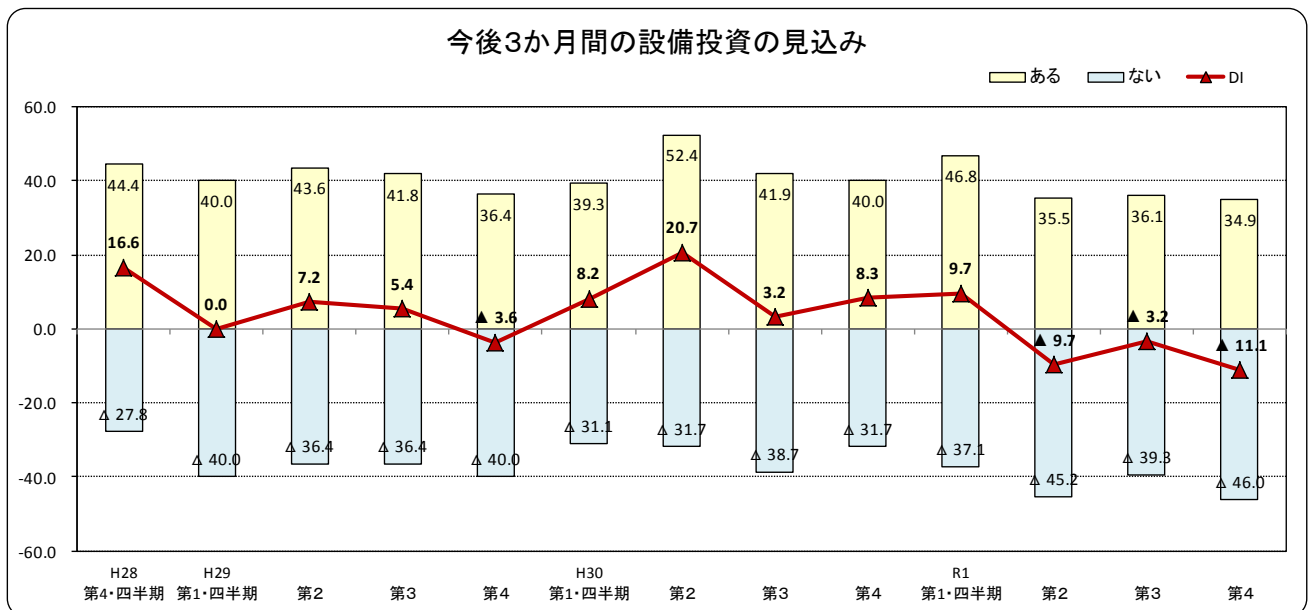
【生産調整の状況】

生産調整を「未実施」とした事業所は、今期は81.0%で前期と比べ0.4ポイント減少、「検討中」は8.6%で5.0ポイント減少、「実施中」は10.3%で5.2ポイント増加となりました。



【設備投資の見込み】

今後3か月間の設備投資の見込みでは、「ある」とする事業所の割合は34.9%で前期と比べ1.2ポイント減少、「ない」とする事業所の割合は46.0%で6.7ポイント増加、D I（「ある」-「ない」）は▲11.1となり、前期と比べ7.9ポイント下降しました。

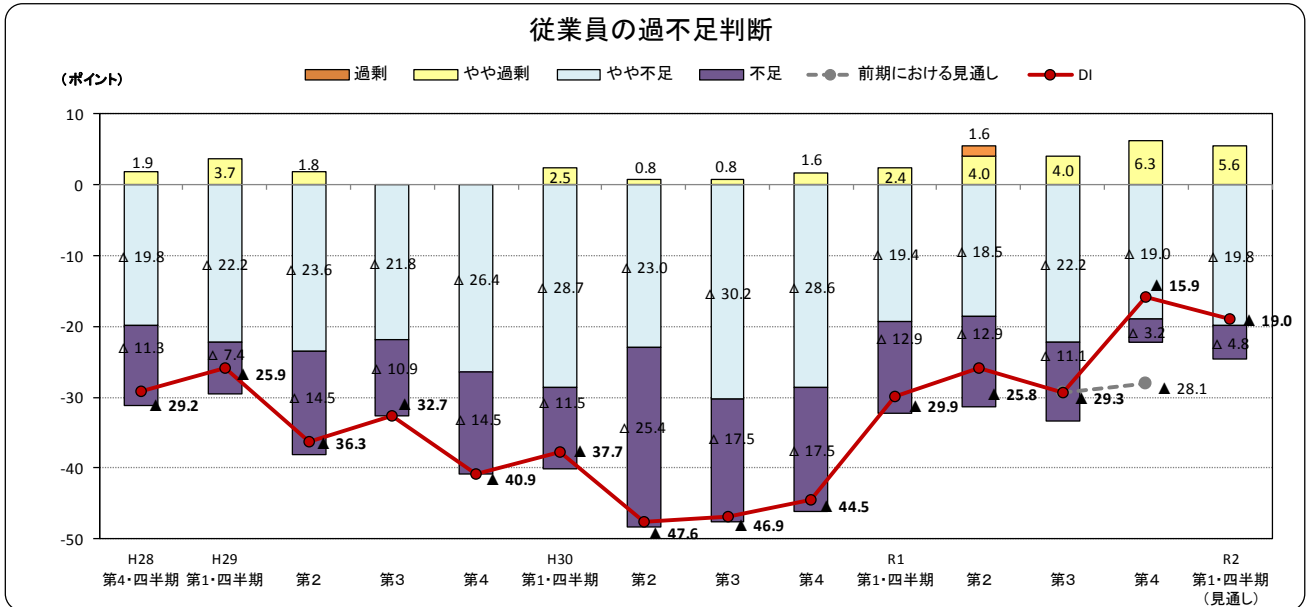


3. 雇用動向について

【従業員の過不足判断】

「過剰」は0.0ポイントで横ばい、「やや過剰」とする事業所は6.3ポイントで2.3ポイント増加、「不足」は3.2ポイントで7.9ポイント減少、「やや不足」とする事業所は19.0ポイントで3.2ポイント減少し、DI（「過剰」-「不足」）は▲15.9となり、前期より13.4ポイント増加（不足判断が減少）して、28期連続で不足判断が過剰判断を上回りました。

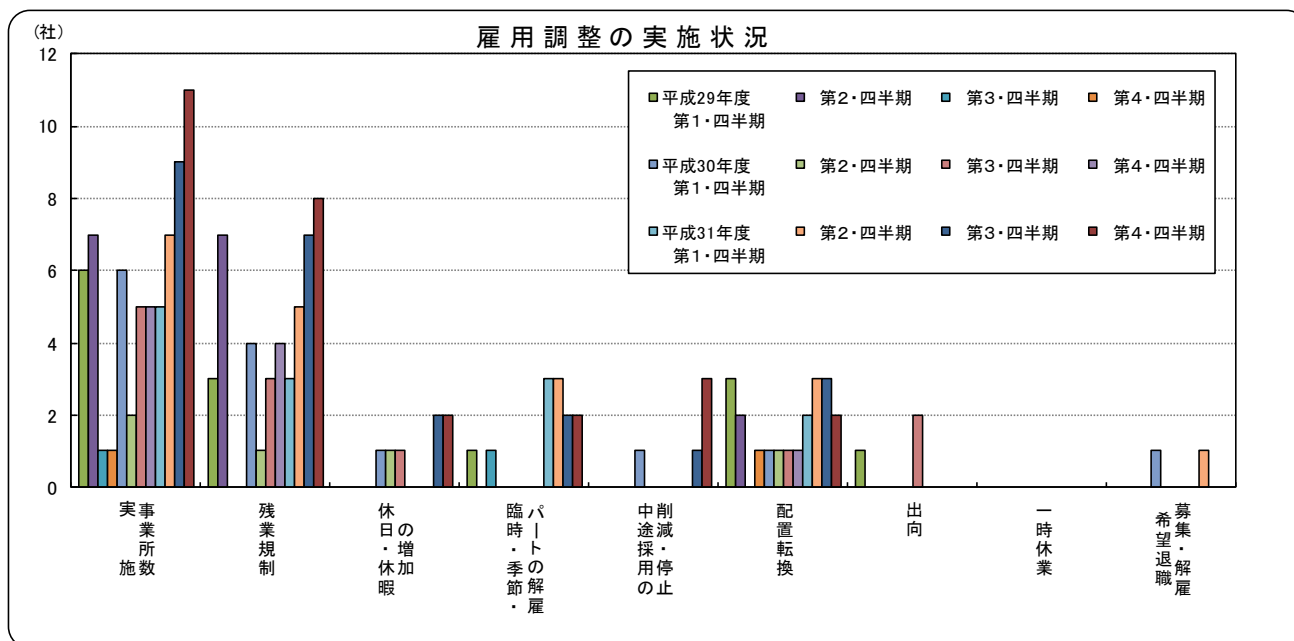
次期の見通しについては、DIは▲19.0で、「不足」判断は増加の予想となっています。



【雇用調整の状況】

雇用調整を実施している事業所数は、今期は11事業所（17.7%）で、前期の9事業所（14.5%）より2事業所の増加となりました。

	合計	実施なし	予定あり	実施事業所数	残業規制	休日・休暇の増加	臨時・季節・パートの解雇	中途採用の削減・停止	配置転換	出向	一時休業	希望退職募集・解雇
平成29年度 第1・四半期	51	42	3	6	3	0	1	0	3	1	0	0
第2・四半期	53	45	1	7	7	0	0	0	2	0	0	0
第3・四半期	55	52	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
第4・四半期	53	52	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0
平成30年度 第1・四半期	60	54	0	6	4	1	0	1	1	0	0	1
第2・四半期	62	58	2	2	1	1	0	0	1	0	0	0
第3・四半期	60	53	2	5	3	1	0	0	1	2	0	0
第4・四半期	59	53	1	5	4	0	0	0	1	0	0	0
平成31年度 第1・四半期	61	56	0	5	3	0	3	0	2	0	0	0
第2・四半期	62	54	1	7	5	0	3	0	3	0	0	1
第3・四半期	62	52	1	9	7	2	2	1	3	0	0	0
第4・四半期	62	51	0	11	8	2	2	3	2	0	0	0



<主なコメント>

- 消費税増税後、あらゆる物が値上がりしている。（事業主団体）
- 従業員の高齢化の進展、若手職員の不足。（建設業）
- 「令和効果」続く。昨年同期を上回る生産、販売数となっている。（製造業）
- 今期は年末年始で本来増加傾向であるが、受注が低調のため横ばい程度の見通し。（製造業）
- 年末年始は日並びも良く増収となった。（宿泊業）
- 最低賃金が上がり人件費が収益を圧迫している。（製造業）
- 生産状況は安定している。（製造業）
- 米中貿易摩擦の長期化に加え、新型肺炎の中国経済に及ぼす影響により、自動化ニーズの復調がさらに不透明なものとなった。（製造業）
- 外需についても中国向輸出など新型肺炎の影響が予想され弱含みの生産となっている。（製造業）
- 一昨年からの外注の変化から一年を経過し、徐々に影響度が小さくなっている。（小売業）
- 収益は厳しい状況が続いており、構造改革に継続取組中。（製造業）
- 製造業では単純事務作業はA I、I o T化するが、工員については即戦力の必要性を感じている。（事業主団体）
- 従業員、パート、内職それぞれが高齢化。若手の育成が課題。（事業主団体）
- 新型コロナウイルスの影響を危惧。（事業主団体）
- 消費税増税、天候不順による大災害等の影響もあり、大幅に需要が減少している。（製造業）
- 海外現地生産化による国内生産の減少。（製造業）
- 期間契約社員の採用難が継続している。（製造業）